

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者様もしくは患者様の代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	認定看護師の教育による初回嚥下スクリーニングに関連した看護介入の変化の検証—看護記録からの分析—			
2. 対象患者	対象期間内に弘前大学医学部附属病院SCU(脳卒中専門治療室)に入室した方			
3. 対象となる期間	2016年4月1日～2017年3月31日 ・ 2018年4月1日～2019年3月31日			
4. 実施診療科等	弘前大学医学部附属病院SCU・二病棟6階、弘前大学大学院保健学研究科看護学領域			
5. 研究責任者	氏名	福岡 幸子	所属	弘前大学医学部附属病院看護部
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任)	なし			
7. 研究の意義	<p>脳卒中では、急性期に嚥下障害を70%程度の例で認めるとされ、早期から多職種が連携して適切な評価に基づく包括的な介入を行うことで、肺炎発症が優位に減少し、経口摂取の拡大が得られるとされています。誤嚥や嚥下障害の診断には嚥下内視鏡検査(Swallowing videoendoscopy: VE)、嚥下造影検査(Swallowing videofluorography: VF)が基準的な検査として行われ、その異常は誤嚥性肺炎の発症と関連しているとされます。しかし、当院では言語聴覚士が不足しており、VE、VFといった検査の実施も十分な状況ではありませんでした。また脳神経外科病棟においても、嚥下障害の評価は十分には行われていませんでした。そのため、2015年に稼働したSCUでは脳卒中リハビリテーション看護認定看護師が看護スタッフへ脳神経系疾患患者様に対する食支援に関する教育を行ってきました。</p> <p>初回経口摂取時のスクリーニングや食事介助の方法について指導し、認定看護師が活動を開始して5年が経過しました。現在、初回経口摂取時の嚥下スクリーニングは看護スタッフが自主的に実施し、経口摂取の可否について判断を行うようになっていきます。そこで、SCU看護師による初回嚥下スクリーニング時の評価・判断内容の変化、またそれによってSCU看護師が設定した看護の方向性や目標、介入方法の変化について調査し、認定看護師としての教育の効果について明らかにしたいと考えました。また、初回経口摂取時のスクリーニングは看護師が主体的に実施していますが、食形態の変更については十分に実施できていないため、今後SCUスタッフがどのように評価を行い、食形態の変更を進めていくかの課題も残されています。本研究では初回嚥下スクリーニング時の評価や目標設定、具体的な介入方法といったSCU看護師の思考過程の変化について調査することで脳神経系疾患急性期からのよりよい食支援、認定看護師としての今後の活動に向けた示唆が得られると考えています。</p>			
8. 研究の目的	<p>認定看護師による脳卒中専門治療室(Stroke Care Unit: SCU)の看護師に対する初回嚥下スクリーニングの教育効果を明らかにします。</p> <p>①SCU看護師が行う初回嚥下スクリーニングでの評価内容の変化を看護記録から明らかにします。</p> <p>②SCU看護師が誤嚥の危険性が高いと判断した患者様に対する看護介入の変化を看護記録から明らかにします。</p>			

<p>9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)</p>	<p>分析には2016、2018年度に弘前大学医学部附属病院SCUに入院した全患者のみなさんの看護記録を使用します。使用する看護記録は、初回の嚥下スクリーニングに関して記述された「経過記録」、看護師が誤嚥リスクの高いと判断した方に対して立案された「看護計画」と「看護計画の評価」、バイタルサインや意識レベル等の経時的変化が記載された「経過表」です。</p> <p>附属病院看護記録システムより抽出した看護記録は、当該患者様の個人情報個人が識別できないよう記号に置き換え、匿名化します。これらの看護記録データをテキストマイニングの手法を用い、看護師の評価内容や介入内容の変化について分析します。</p>										
<p>10. 個人情報の保護</p>	<p>〈使用する情報の管理について〉 研究で使用する匿名化したデータは弘前大学医学部附属病院内で保管し、研究終了後も10年間は鍵のついたロッカーで厳重に保管します。デジタル化したデータファイルにはパスワードを設定し、保管します。また、研究対象患者様の識別のために対応表を作成しますが、対応表はインターネット等の外部ネットワークに接続していないパソコンで作成、保管し、研究者以外がアクセスできないようパスワードを設定します。また、パスワードは1か月に1度変更します。対応表のデータ管理の責任は研究代表者が担います。</p>										
<p>11. 利益相反に関する状況</p>	<p>本課題は公費を用いて行うため、利害の衝突が起こることはありません。また、関連組織との関わりもありません。</p>										
<p>12. 連絡先</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">弘前大学医学部附属病院</td> <td>SCU</td> <td colspan="2">福岡 幸子</td> </tr> <tr> <td>電話</td> <td colspan="2">0172-39-5447(附属病院SCU)</td> <td>FAX</td> <td>— —</td> </tr> </table>	弘前大学医学部附属病院		SCU	福岡 幸子		電話	0172-39-5447(附属病院SCU)		FAX	— —
弘前大学医学部附属病院		SCU	福岡 幸子								
電話	0172-39-5447(附属病院SCU)		FAX	— —							